

## ②雄阿寒岳一大雪山山行

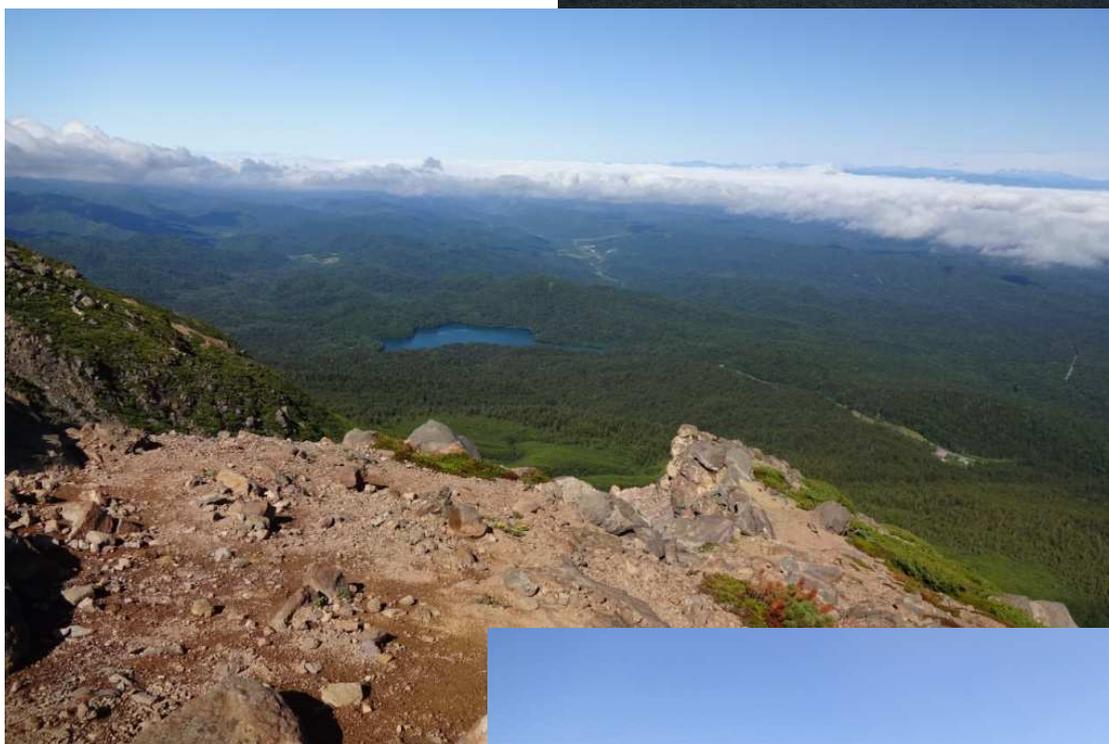
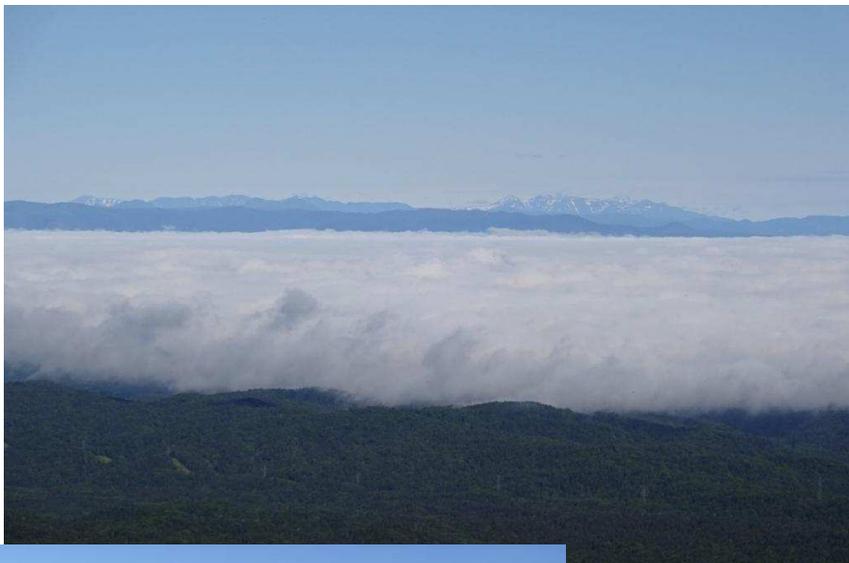
山行日：2015. 07. 05～06 参加者(ht,ur)、no,hi,ta,su 天候：晴れ後曇り

コース：5日 阿寒湖温泉民宿/5:00－雌阿寒岳山頂/8:35－登山口/12:00－旭岳温泉/17:45

6日 姿見平/6:45－旭岳/8:40－北鎮岳/11:10－中沢温泉/12:55－姿見平/15:30

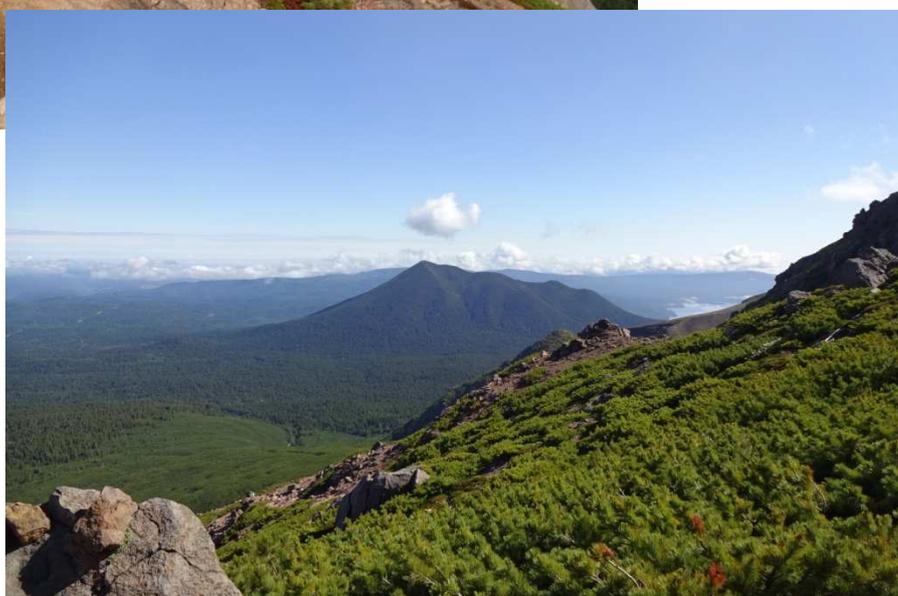


阿寒湖温泉から車で 30 分移動して  
登山口へ  
高度を上げると大雪山が見えてきた



そして眼下に  
オンネトー

右端に阿寒湖が顔を  
覗かしている





最後の岩場を越えて  
噴煙あがる火口壁沿いに行く



凄まじい  
火口壁

噴煙あがる  
火口が  
あちこちに  
まさに活火山





噴火口対岸に  
阿寒富士





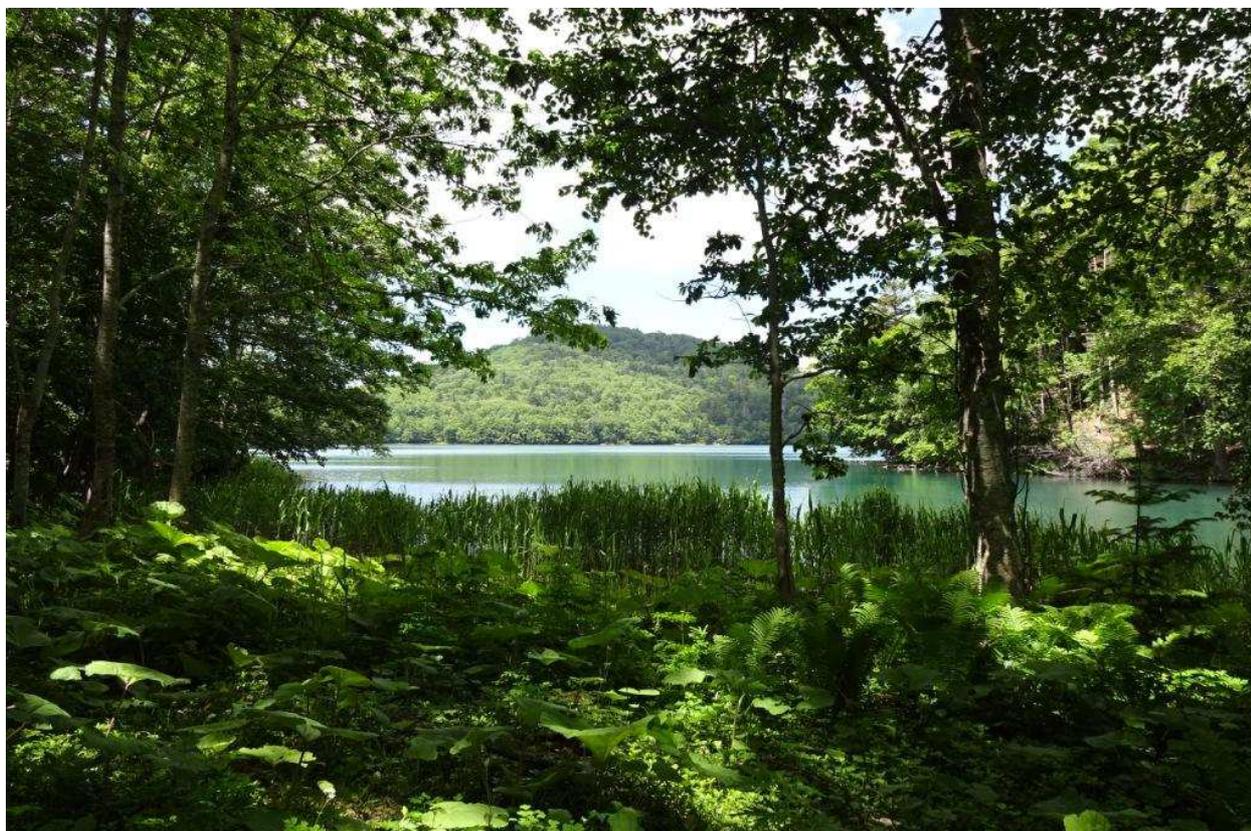
砂礫帯にコマクサが盛りを過ぎていたがわずかに残っていた



オンネトーに向けて降りている途中にガイドの安部さんに追いつかれて・・・今日で3回目の遭遇、記念写真となった

明るくそしてもの寂しい  
オンネトー湖畔歩き





雌阿寒温泉国民宿舎野中温泉別館  
駐車場に 12:00 到着

ここで3名が温泉に入り、阿寒湖民宿で1名乗せて、女満別空港から帰京する。  
残りの2名は北見～層雲峡から旭川へ、国道39号線を5時間かけて軽快にドライブを楽しみ



ロープウェイ駅に近い旭岳温泉ユース  
ホステル大雪山白樺荘にアクシデントに巻き込まれたが17:45到着する。  
宿まであと5km手前で、5台ほど先を行く車がセンターラインを越えて対向車と正面衝突してしまい、渋滞となってしまったが、警察、救急車両が到着する前に温泉街のジャンボタクシーが事故車を脇に牽引し通行できるようにしてくれたおかげ。



外国人のお客が多いホテルである。ここに2連泊でゆっくりと大雪を歩くスケジュール

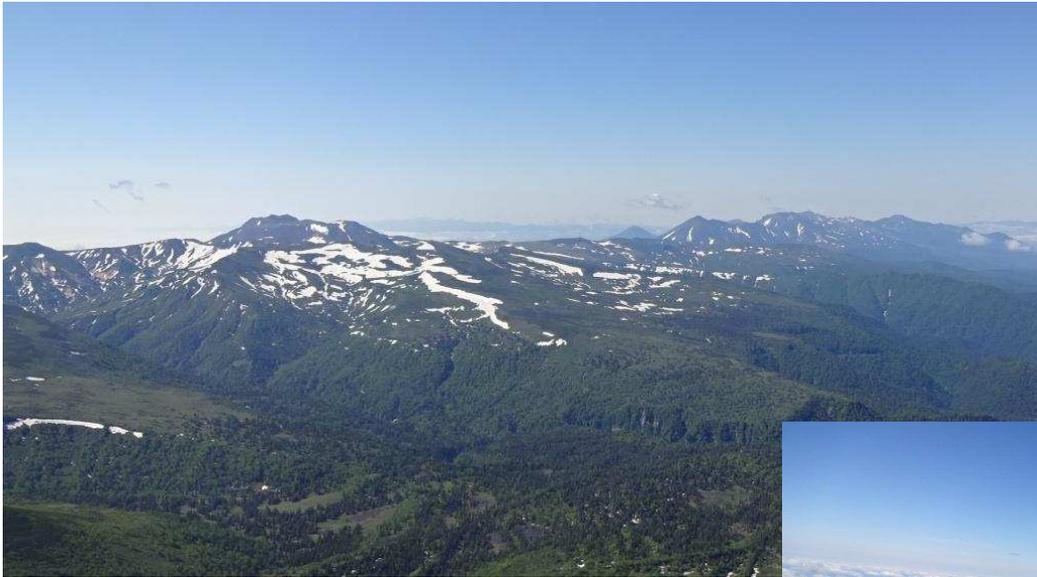
天気予報も今回の山行で一番の気圧配置となった



ロープウェイ一番乗りで 6:45 姿見駅出発  
内部もきれいだった無人の旭岳石室



山頂に向けて  
一直線に高度を  
稼いで行く

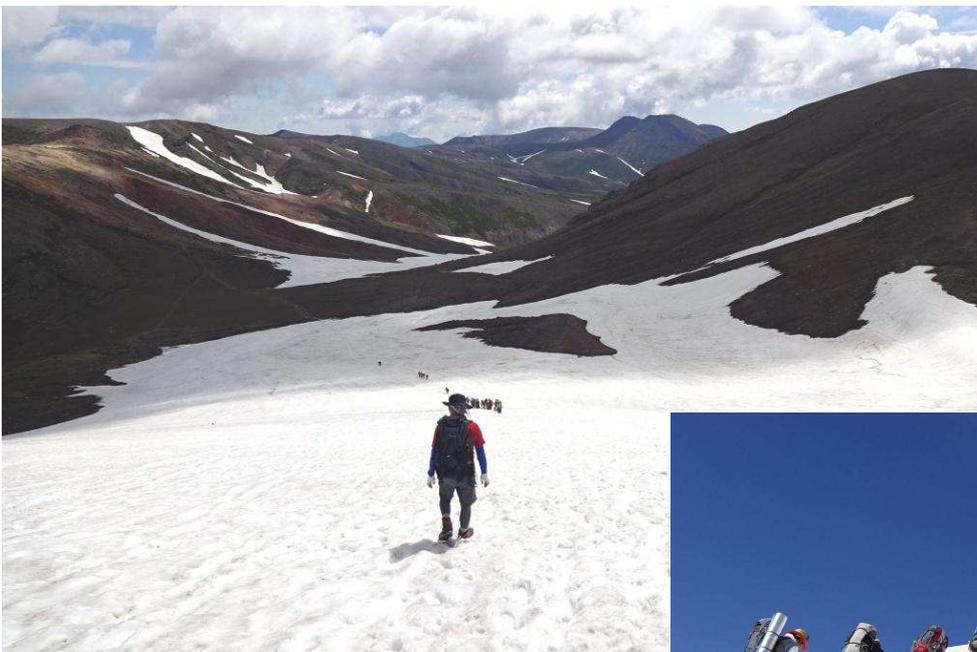


トムラウシと十勝岳

金庫岩通過



360度大ロケーションの旭岳山頂に 8:40  
本州のアルプスとは大いに異なる山並み  
雄大な起伏の尾根がつづいている  
強い風が吹き抜けていたので、先へ行く



北東斜面  
残雪が多いがアイゼン  
なしで下降してゆく

ツアー客は一系列縦隊でアイゼンを付け  
ゆっくりと山頂を目指してゆく





北鎮岳へ向け

中岳温泉分岐



旭岳、後旭岳を振り返る

平坦な間宮岳





御鉢平、ここも旧火口  
右稜線が松田岳、北海岳ルートで黒岳石室で合流

中岳通過



右円錐形のピークが北鎮岳

層雲峡ルートからのツアー客が多い





続々と  
団体が  
やってくる

北鎮岳には  
ピストンせず  
休憩して  
旭岳に  
向って行く



左ピーク凌雲岳、小ピーク桂月岳、左が落ち込んでいる  
ピークが黒岳。赤石川の谷に並行しているルート

北鎮岳山頂の 360 度大展望





中岳分岐（旭岳周回コース）  
この谷を緩やかに降りてゆくルート



尾根から急下降して  
降り立ったところが  
天然露天風呂、中岳温泉

スコップで流量調整し水温管理する





広大な溶岩が流れた台地、裾合平



裾合平分岐で向きを変え、旭岳すそ野を巻いて行く



残された時間もあと僅か、旭岳～北鎮岳の稜線を振り返る





姿見ノ池で安部さんに似た後姿を見つけたので、声をかけたらまさかの出会い  
これで連日の4回目。もし中沢温泉で足湯をしなかったら木道の手入れをしていた指導員と、雑談をしなかったらほんの数秒で行き違いになっていたのである。

これで非日常の生活も終了  
長くてあつと言う間だった  
good luck

